

〔KT-8CN型〕  
〔KT-8PN型〕

水道法性能基準適合品

ストレーナ

〔製品記号〕  
KT8CN-M  
KT8PN-M

# 取扱説明書



流れ・ビューティフル

株式  
会社



## はじめに

この取扱説明書は、KT-8CN型、KT-8PN型ストレーナの取扱方法について記述しています。  
本製品をご使用前に熟読の上、正しくお使いください。

この取扱説明書は本製品を設置、および使用される方々のお手元に確実に届くようお取りはからい願います。

## 製品の危険性についての本文中の用語



**警告** : 取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。



**注意** : 取扱を誤った場合、使用者が軽い、若しくは中程度の傷害を負う危険が想定される場合、または物的損害・損壊の発生が想定される場合。

## ご使用にあたっての警告・注意事項

本製品のご使用にあたり、人身の安全および製品を正しく使用するために必ずお守りください。



### 警告

- 本製品は、重量物ですので、配管取付などの際には製品本体を確実に支えるなど注意を払ってください。  
※製品を落としますと、怪我をする恐れがあります。
- 製品を配管取付け後、流体を流す前に配管末端まで流体が流れても危険のないことを確認してください。  
※流体が吹出した場合、怪我をしたり、高温流体の場合、やけどをする恐れがあります。
- 製品にはむやみに触れないようにしてください。  
※高温流体の場合、やけどの恐れがあります。
- ネットの清掃にあたっては、一次側の供給弁を止め、製品内の流体を徐々に排出して、圧力が零になっていることを確認すると共に、高温流体の場合は、本体を素手でさわられるまで冷してから行ってください。  
※流体の吹出しにより、周囲を汚したり、怪我や高温流体の場合はやけどをする恐れがあります。



### 注意

- 本製品の分解にあたっては、熟練した専門の方（設備・工事業者の方など）が実施してください。  
一般のご使用者は、分解しないでください。ネットの目詰りや異常がある場合は、設備・工事業者または、当社に処置を依頼してください。
- 本製品を使用する前に、製品の梱包箱または、同梱している取扱説明書、および1頁の仕様を確認してください。使用条件が仕様を満足することを確認の上、製品をご使用ください。
- 本製品の機能・性能の確認のため、日常点検、定期点検を実施してください。

目次	頁
1. 製品用途、仕様、構造 .....	1
(1) 用途 .....	1
(2) 仕様 .....	1
(3) 構造 .....	2
2. 設置要領 .....	3
(1) 製品質量 .....	3
(2) 要領 .....	3
3. 保守要領 .....	4
(1) 日常点検 .....	4
(2) 定期点検 .....	4
(3) 消耗部品と交換部品 .....	4
4. 分解・組立要領 .....	5
(1) 分解 .....	5
1) 分解工具 .....	5
2) 分解 .....	5
3) 清掃 .....	5
4) 分解図 .....	6
(2) 組立 .....	8

○サービスネットワーク

## 1. 製品用途、仕様、構造

### (1) 用途

KT-8CN型、KT-8PN型は、主として液体用に用いられるストレート形ストレーナで、配管内に混入した塵埃、砂、スケールなどの異物をネットで除去し、配管系の機器などを保護する目的に使用されます。

### (2) 仕様

型式	KT-8CN		KT-8PN	
製品記号	KT8CN-M		KT8PN-M	
種類	ナイロンコーティング		エポキシ樹脂粉体塗装	
呼び径	40~100			
適用流体	水・温水			
適用圧力	2.0MPa以下			
流体温度	5~60℃			
端接続	JIS 20K RFフランジ <sup>注1</sup>			
材質	本体・カバー	FCD 450		
	網	SUS		
網目	60メッシュ内張り <sup>注2</sup>			
許容差圧	0.1MPa			
塗装またはコーティング塗膜	内外面共 ナイロン11コーティング 0.3mm以上（白色）		内外面共 エポキシ樹脂粉体塗装 0.3mm以上（グレー）	

注1：JIS 10、16KRF（FF）、水道用仕切弁フランジ、ASME・JPI150RFも製作します。

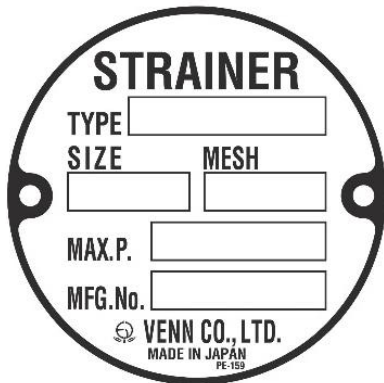
注2：パンチアミ、20、40、80、100メッシュも製作しています。



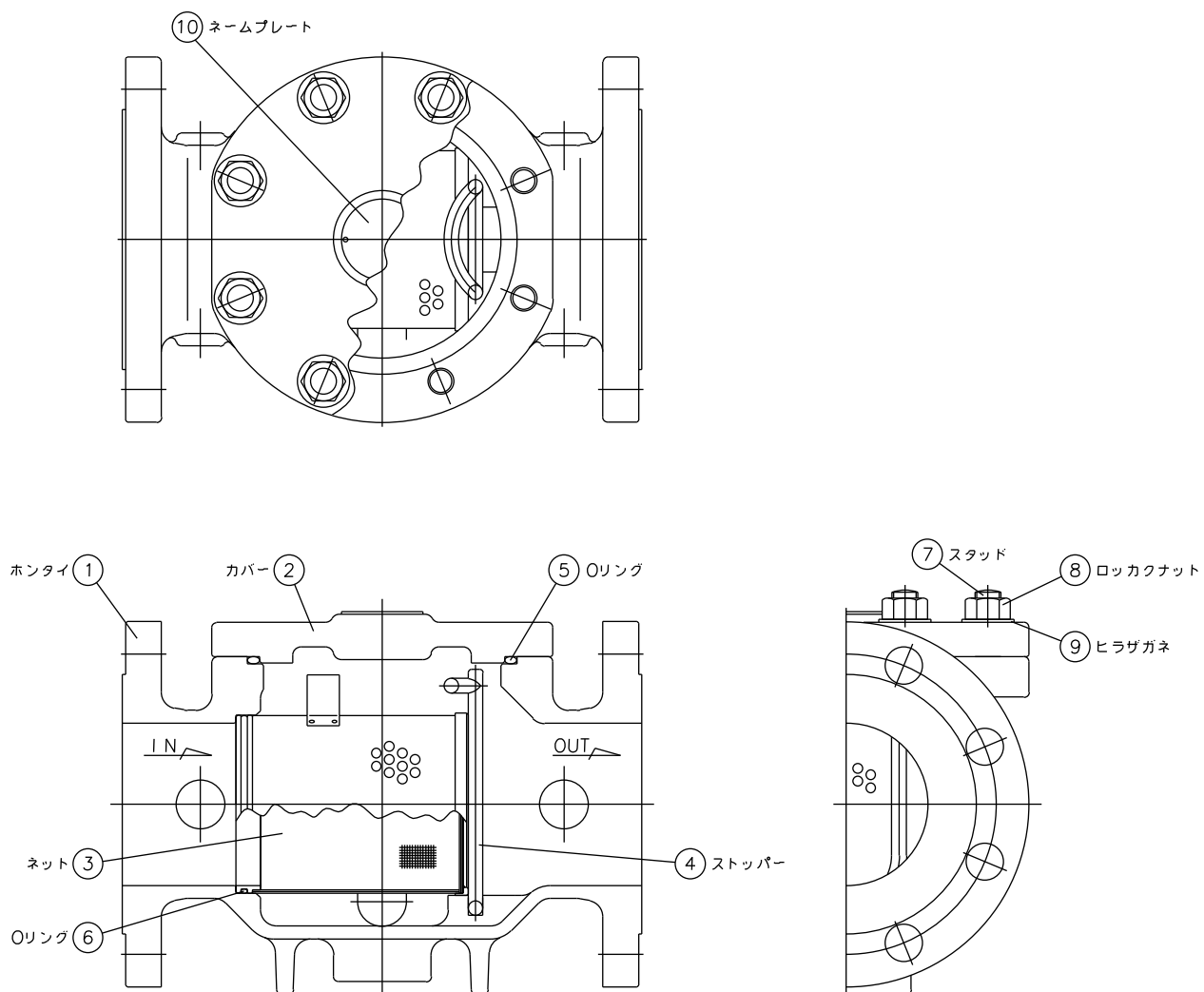
### 注意

- 上記仕様及使用条件を満足することを確認してください。
- 上記仕様を超えての使用はできません。

銘版



### ( 3 ) 構造



注) 部品名・部品番号は呼び径によって異なる場合があります。  
 交換部品などの手配の際は、部品名・部品番号は納入図をもとに指示してください。

## 2. 設置要領



### 警告

- 本製品は重量物ですので、配管取付などの際には製品本体を確実に支えるなど注意を払ってください。  
※製品を落としますと、怪我をする恐れがあります。

### (1) 製品質量

		JIS 20K RF				
呼び径		40	50	65	80	100
質量 (kg)		8	13	18	26	38

### (2) 要領

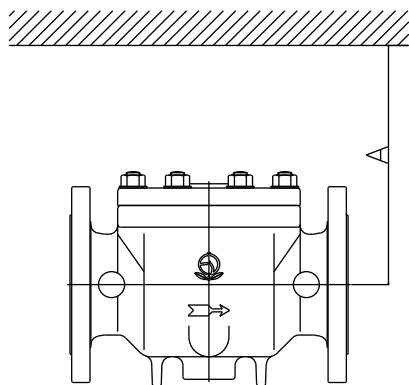


### 注意

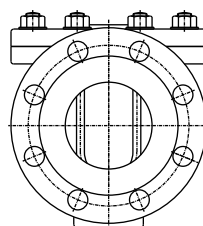
- 輸送中などに製品への異物混入を避けるため、入口・出口にキャップ、あるいはシール蓋をしてあるものについては、それらを外してから取付けてください。
- 製品を配管に接続する際には、製品の流れ方向を示す矢印と流体の流れ方向を合わせて取付けてください。  
※誤った取付をした場合、製品の機能を発揮できません。
- 製品には、配管の荷重や無理な力・曲げ、および振動がかからないよう配管の固定や支持をしてください。  
※配管の固定や支持をしない場合、製品の損傷の原因となります。
- 凍結の恐れのある場合は、水抜きや保温などをしてください。  
※凍結による破損の恐れがあります。  
※本製品に水抜き箇所はありません。
- 外気の温度差が40℃以上ある場合には必ずストレーナを保温してください。  
※コーティングの破損の恐れがあります。

1) 分解点検のため、ストレーナの上の空間は、下表の寸法以上確保してください。

呼び径	40	50	65	80	100
A (mm)	300	300	350	370	420
カバー一式の質量 (kg)	1.4	1.4	2.8	3.8	5.6



A : ネット取出しスペース



2) 凍結が予想される場合、または製品と外気の温度差が40℃以上ある場合には必ずストレーナを保温してください。

### 3. 保守要領



#### 警告

ネットの清掃にあたっては、ストレーナ前後の止弁を閉止し、製品内の圧力が零になっていることを確認するとともに高温流体の場合は、本体を素手でさわられるまで冷やしてから行ってください。

※流体の吹出しにより、周囲を汚したり、怪我や高温流体の場合はやけどをする恐れがあります。



#### 注意

- 本製品の機能・性能の確認のため、日常点検、定期点検を実施してください。
- 本製品の分解にあたっては、熟練した専門の方（設備・工事業者の方など）が実施してください。  
一般のご利用者は分解しないでください。ネットの目詰りや異常がある場合は、設備・工事業者または、当社に処置を依頼してください。
- ネットが目詰りすると、流量不足や圧力降下などの不具合が発生しますので、入口と出口の差圧（圧力損失）が0.1MPa位になったらネットの清掃が必要です。

#### （1）日常点検

点検項目	処置
流量の出具合 差圧（圧力損失）の増加	目安として入口と出口の差圧（圧力損失）が0.1MPa以下であること。「分解・組立要領」参照。
本体上部のリングシール部からの外部漏れの有無。	リングの交換。 「分解・組立要領」参照。

#### （2）定期点検

本製品の機能・性能を維持するため、定期的に分解点検を実施してください。

点検周期	1回/年
主な点検項目	①ネットの目詰り。
	②本体上部リングシール部からの外部漏れの有無。

#### （3）消耗部品と交換時期

リングは、耐久年数、使用頻度、使用条件等により異なりますが、交換時期の目安は下表になります。

呼び径	消耗部品	交換時期	要求先
40～100	カバー用リング⑤	3年以内	(株)ベン
	ネット用リング⑥	3年以内	

## 5. 分解・組立要領

### (1) 分解



#### 警告

●本製品の分解にあたっては、ストレーナ前後の止弁を閉止し、圧力が零になっていることを確認するとともに、高温流体の場合は、本体を素手でさわられるまで冷ましてから行ってください。

※流体の吹出しにより、周囲を汚したり、怪我や高温流体の場合はやけどをする恐れがあります。

●カバーを分解・組立する際は、呼び径が大きいものは重量物ですので、注意してください。

※カバーを落としますと、怪我をする恐れがあります。



#### 注意

本製品の分解にあたっては、熟練した専門の方（設備・工事業者の方）が実施してください。一般のご利用者は分解しないでください。ネットの目詰りや異常がある場合は、設備・工事業者または、当社に処置を依頼してください。

### 1) 分解工具

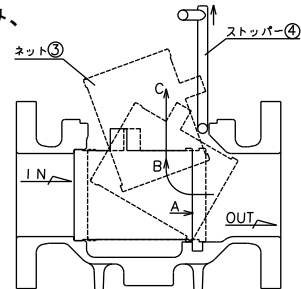
分解前に必要な工具をあらかじめ用意します。

工具名称	呼 び	ストレーナ 呼び径	工具使用箇所
スパナ	19	40～80	ロックナット⑧
	24	100	
用 具	ウエス（柔らかい布など）、ワイヤーブラシ		

### 2) 分解

(7頁 分解図 参照)

手順	分 解 要 領
1	ロックナット⑧を緩めてカバー②を取外します。
2	ストッパー④上部を上方に抜取り、ネット③の取っ手を掴み、ホントイ①の出口側に移動し、ネット③の入口側を上にして持ち上げ、ホントイ①より取出します。 (右図A、B、Cの手順)



### 3) 清掃

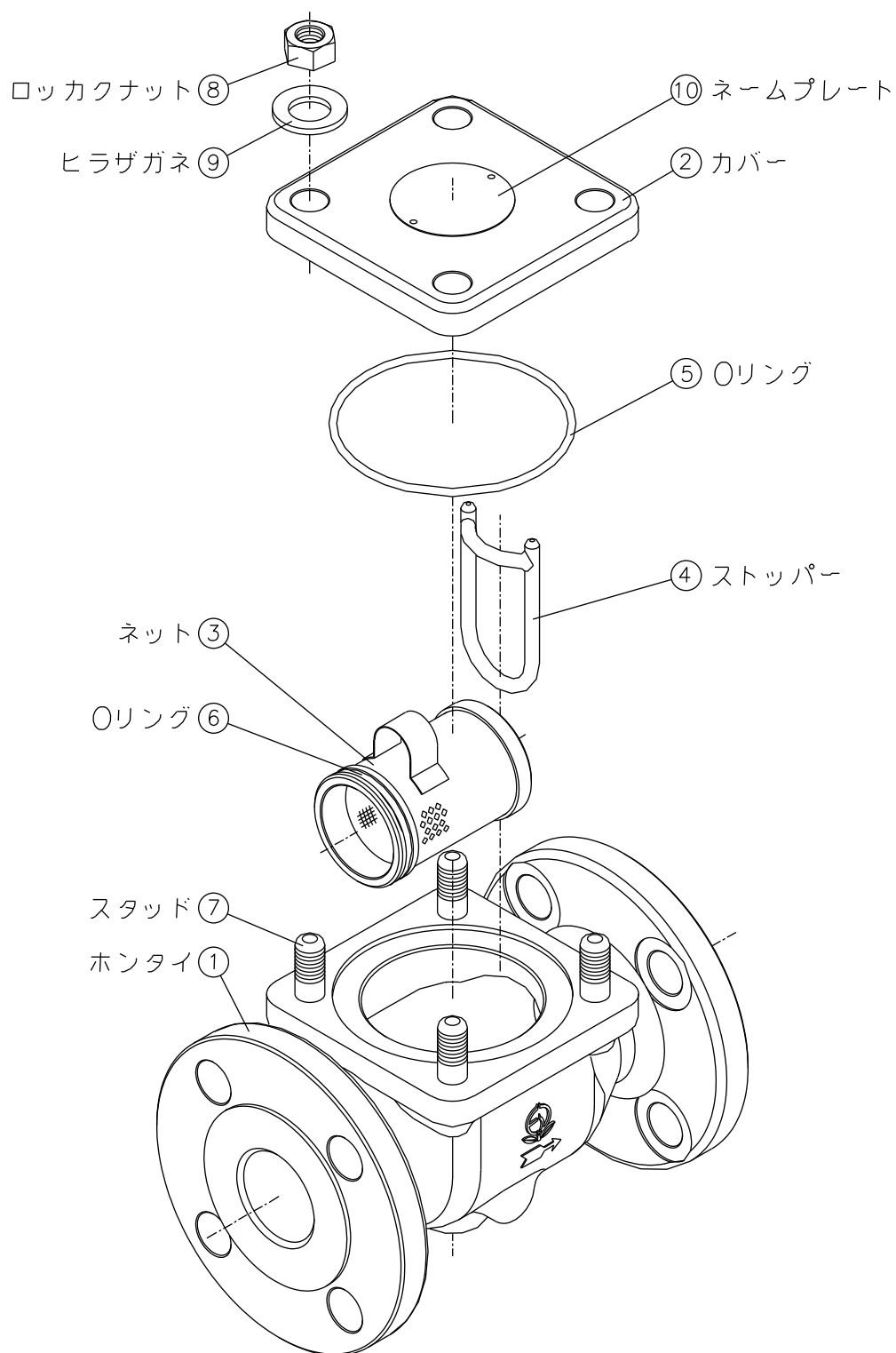
(7頁 分解図 参照)

手順	要 領
1	各部品をウエスで清掃します。
2	ネット③に付着している塵埃、砂、スケールなどをワイヤーブラシなどで落とし、洗浄します。
3	Oリング⑤、⑥が破損している場合は新品と交換します。
4	ネット③が変形している場合は、新品と交換します。



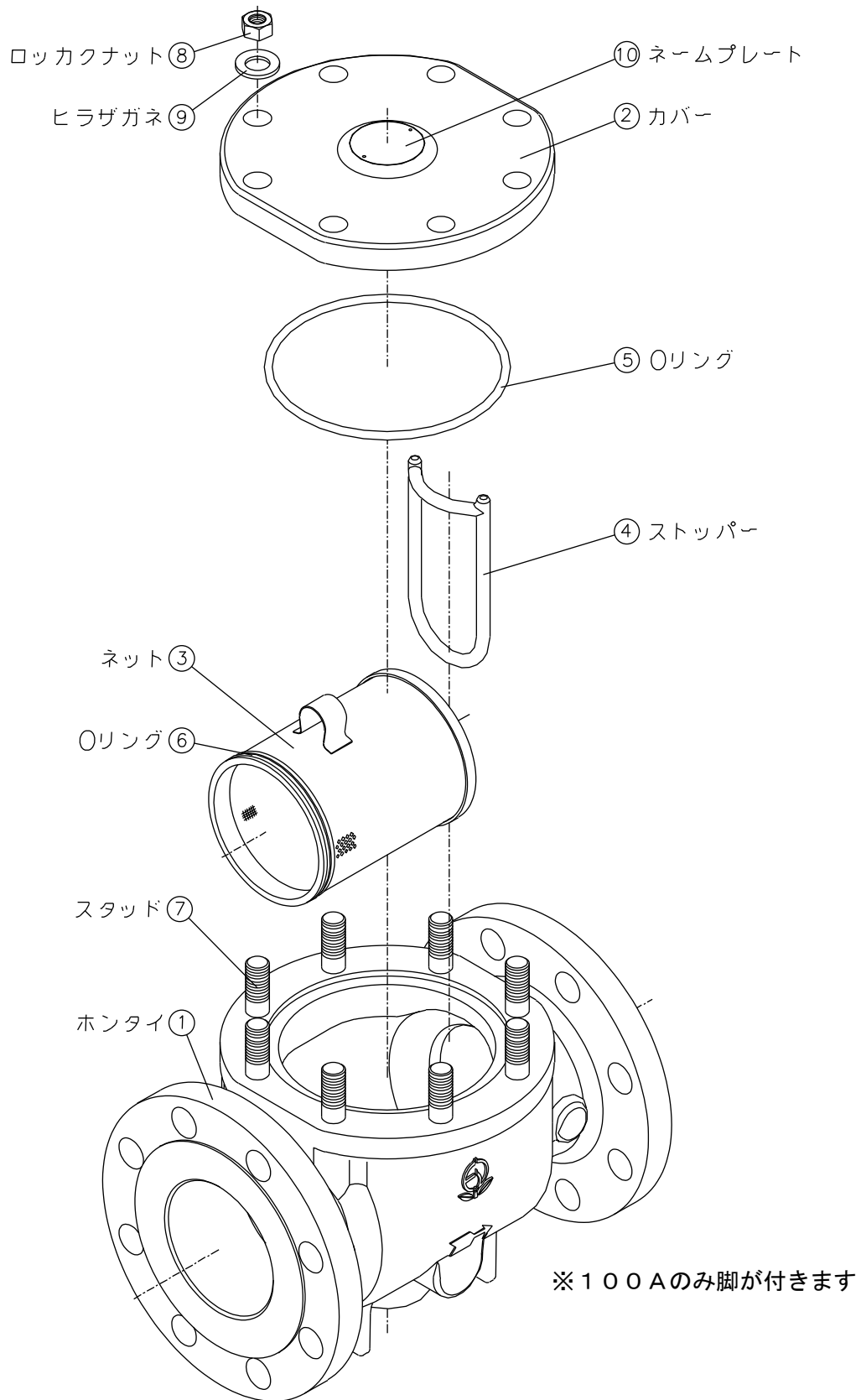
#### 4) 分解図

呼び径40、50A



※注) 部品名・部品番号は、納入品図面と異なる場合があります。部品交換等の手配の際には、部品名・部品番号は、納入品図面をもとに指示してください。

呼び径50~100A



※注) 部品名・部品番号は、納入品図面と異なる場合があります。部品交換等の手配の際には、部品名・部品番号は、納入品図面をもとに指示してください。

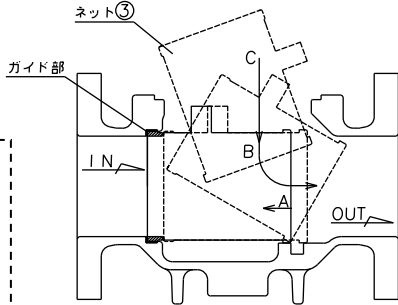
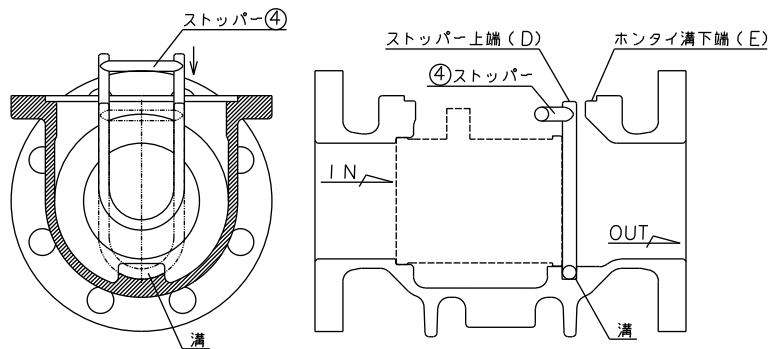
## ( 2 ) 組立



### 注意

組立にあたっては、部品は確実に組付け、ボルトは片締めとにならないように対角上に均一に締付けてください。

組立は、分解と逆の手順で行います。

手順	要 領
1	<p>損傷が激しい部品は、新品と交換します。</p>
2	<p>ネット③に変形がないことを確認後、ネット③の取っ手を掴みネットの底を下にし、ホンタイ①の出口側に向けて挿入後、入口側に移動します。 (右図C、B、Aの手順) この時、ネット③はホンタイ①のガイド部に確実に はめ込んでください。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p> 注1：Oリングには必ずワセリン等の潤滑剤を塗布してください。 潤滑剤を塗布しないと、Oリングの破損や組付不能の原因となります。</p> </div> 
3	<p>ストッパー④をホンタイ①底部の溝に差込みます。この時、ストッパー④の上端(図示D)がホンタイ①溝下端(図示E)より出ていないことを確認してください。 また、ストッパー④の持ち手部は凸部をホンタイ入口側に向けて差込んでください。</p> 
4	<p>Oリング⑤、カバー②をホンタイ①に組付け、ロッカクナット⑧、ヒラザガネ⑨、にて締付けます。</p> <p> 注1※同上</p>

以上で組立は終了です。

サービスネットワーク

担当部署	サービス区域	
☆東京営業所	東京、神奈川	品質保証課 TEL03(3759)1230
☆西関東営業所	神奈川、東京、山梨	
☆東関東営業所	千葉、茨城	
☆北関東営業所	埼玉、栃木	
☆関越営業所 新潟出張所	群馬、長野、新潟	
☆仙台営業所	宮城、山形、福島	
☆盛岡営業所	岩手、青森、秋田	
☆札幌営業所	北海道全域	
☆大阪営業所 岡山出張所	大阪、京都、奈良、和歌山、兵庫、岡山、鳥取、滋賀、三重、 四国全域	
☆名古屋営業所 静岡出張所	愛知、岐阜、三重、静岡	
☆金沢営業所	石川、富山、福井	
☆広島営業所	広島、島根、山口	
☆福岡営業所 沖縄出張所	九州全域、沖縄	

本 社

〒146-0095 東京都大田区多摩川 2-2-13

TEL. 03 (3759) 0170

FAX. 03 (3759) 1414

○ 東日本営業部

- ☆ 東京営業所 TEL. 03 (3759) 0171
- ☆ 西関東営業所 TEL. 042 (772) 8531
- ☆ 東関東営業所 TEL. 043 (242) 0171
- ☆ 北関東営業所 TEL. 048 (663) 8141
- ☆ 関越営業所 TEL. 027 (252) 4248
- 新潟出張所 TEL. 025 (282) 3833
- ☆ 仙台営業所 TEL. 022 (287) 6211
- ☆ 盛岡営業所 TEL. 019 (697) 7651
- ☆ 札幌営業所 TEL. 011 (875) 8007

○ 西日本営業部

- ☆ 大阪営業所 TEL. 06 (6325) 1501
- 岡山出張所 TEL. 086 (902) 3060
- ☆ 名古屋営業所 TEL. 052 (411) 5840
- 静岡出張所 TEL. 054 (275) 2705
- ☆ 金沢営業所 TEL. 076 (261) 6989
- ☆ 広島営業所 TEL. 082 (230) 4511
- ☆ 福岡営業所 TEL. 092 (291) 2929
- 沖縄出張所 TEL. 098 (860) 1660

○ 工場

- 岩手工場 TEL. 019 (697) 2425
- 相模原工場 TEL. 042 (772) 7341

2020.8